



至心に祈る大山御貫首

高尾山の大自然は刻一刻と変化すると共に、私達に生活への潤いと勇氣さえも与えてくれます。

これを大きな恵みと心から感謝するべきで、この感覚こそ先人より伝わる心の財産であります。

それ故に、豊かな自然が存在するお山の価値は高く、又、幾百年に亘る先人の労苦によって現在の高尾山の環境

が保たれている訳であり、これを後世まで存続させる努力を続けることこそ、我々の一つの使命で有ると思うのです。

近頃、観光地として親しまれる高尾山ですが、古来より自然の結界道場が開かれる、心の修養の霊山という事に変わりはありません。

このお山がご信仰の拠り所として未だ永劫に渡り、参拝者にも、登山者にも、人々の心身に十分満足の行く「心のふるさと、祈りのお山」である事を心から願うものであります。

御信徒の皆様方には御本尊飯繩大権現様のご威徳を仰がれ、本年も安寧にお過ごしただけます事を至心に祈りつつ、新年の挨拶と致します。

合掌

平成二十九年 丁酉 元旦

年頭所感

心のふるさと 祈りのお山

貫首 大山隆玄

新年明けましてお目出とうございます。御信徒の皆様方には、良き新春をお迎えなされた事と拝察し、謹んでお慶び申し上げます。

近年、高尾山には年間を通して三百万人を越える人々が入山されるといわれております。



温故知新 古きものをたずね求めて、新しき事柄を知る

温故知新

高尾山隆玄



御本尊様に参拝する人達も、大自然の景に接して心身の浄化をはかろうとする人達も、それぞれの感じ方でお山に訪れるのであります。

こうして多くの人々が高尾山に訪れる転機となりましたのも、丁度本年より五十年前の昭和四十二年、京王線が山麓まで開通した事が、大いに影響しているのではなからうかと思ふのです。

人類の繁栄を象徴する大都會と、人類の遺産ともいえる大自然とを結ぶ二本のレールは、都会の喧噪と公害に疲れた人々に、憩いと安らぎを与える、心のふるさとへの還り道となっているのであります。